

NY マーケットレポート (2014 年 4 月 15 日)

昨夜の NY 外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標がまちまちの結果となったことから、ドルの値動きはやや限定的となりました。一方、中国の経済指標が悪化したことを受けて、貴金属など資源価格が大きく下落したことを受けて、豪ドルなどの資源国通貨が軟調な動きとなっていました。そして、翌日の中国の経済指標の結果に対する懸念を背景に、欧米の株価も下落に転じたことから、リスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は軟調な展開が続きました。午後に入ると、日本政府が4月の月例報告で景気判断を下方修正するとの電子版記事を受けて円売りが優勢となり、また株価が値を戻す動きとなったことも加わり、ドル円・クロス円は安値から反発する動きとなりました。

2014/ 4/15 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	101.79	101.99	101.69
EUR/JPY	140.39	140.90	140.29
GBP/JPY	169.99	170.45	169.80
AUD/JPY	95.61	96.00	95.56
EUR/USD	1.3795	1.3822	1.3793

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	101.90	101.69
EUR/JPY	140.64	140.29
GBP/JPY	170.41	169.54
AUD/JPY	95.68	95.48
EUR/USD	1.3810	1.3790

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	13996.81	+86.65
ハンセン指数	22671.26	-367.54
上海総合	2101.60	-29.94
韓国総合指数	1992.27	-4.75
豪ASX200	5388.16	+29.21
インドSENSEX指数	22484.93	-144.03
シンガポールST指数	3246.32	+32.49

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6541.61	-42.15
仏CAC40	4345.35	-39.21
独DAX	9173.71	-165.46
ST欧州600	326.58	-3.21
西IBEX35指数	10103.50	-84.70
伊FTSE MIB指数	20817.49	-497.07
南ア 全株指数	47789.76	-423.50

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.87	102.00	101.51
EUR/JPY	140.69	140.77	140.23
GBP/JPY	170.40	170.69	169.74
AUD/JPY	95.33	95.70	94.84
NZD/JPY	88.05	88.29	87.62
EUR/USD	1.3813	1.3834	1.3791
AUD/USD	0.9359	0.9393	0.9336

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16262.56	+89.32
S&P500	1842.98	+12.37
NASDAQ	4034.16	+11.47
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14303.92	+19.49
🇧🇷 ボルサ指数	40481.80	-48.89
🇨🇦 ボベスパ指数	50454.35	-1142.20

4/16 経済指標スケジュール

09:30	【豪】3月ウエストバック先行指数
10:30	【中】1Q景況感指数
10:30	【中】1Q企業家信頼感指数
11:00	【中】3月小売売上高
11:00	【中】3月固定資産投資
11:00	【中】1Q実質GDP
11:00	【中】3月鉱工業生産
13:30	【日】2月鉱工業生産
13:30	【日】2月稼働率指数
17:30	【英】2月ILO失業率[四半期]
17:30	【英】3月失業者数推移
18:00	【欧】3月消費者物価指数
18:00	【スイス】4月ZEW景況感調査
20:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
20:00	【南ア】2月実質小売売上高
21:00	【ポーランド】3月雇用
21:30	【カナダ】2月国際証券取扱高
21:30	【米】3月住宅着工件数
21:30	【米】3月建設許可件数
22:15	【米】3月鉱工業生産・設備稼働率
23:00	【カナダ】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1300.30	-27.20
NY 原油	103.75	-0.30
CME コーン	503.75	+0.75
CBOT 大豆	1501.25	+25.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.37%	0.37%
3年債	0.84%	0.83%
5年債	1.62%	1.61%
7年債	2.18%	2.19%
10年債	2.63%	2.65%
30年債	3.46%	3.49%

4/16 主要会議・講演・その他予定

- ・アトランタ連銀総裁 講演
- ・ダラス連銀総裁 講演
- ・イエレンFRB議長、スタインFRB理事 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 101.90 ユーロ/円 140.57 ユーロ/ドル 1.3798

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6583.30	-0.46	ダウ INDEX FUTURE	16116	+20
仏 CAC40	4395.94	+11.38	S&P500 FUTURE	1828.00	+3.50
独 DAX	9308.97	-30.20	NASDAQ FUTURE	3480.00	+9.75

(出所:SBILM)

21:00

≪ 経済指標の結果 ≫

3月ポーランド消費者物価指数(前月比) 0.1%(予想 0.2%・前回 0.1%)

3月ポーランド消費者物価指数(前年比) 0.7%(予想 0.7%・前回 0.7%)



(出所:ブルームバーグ)

21 : 00

《米企業決算》

米コカ・コーラ

第1四半期 調整後1株利益 0.44ドル (予想 0.44ドル)

米J & J

第1四半期 調整後1株利益 1.54ドル (予想 1.48ドル)

21 : 30

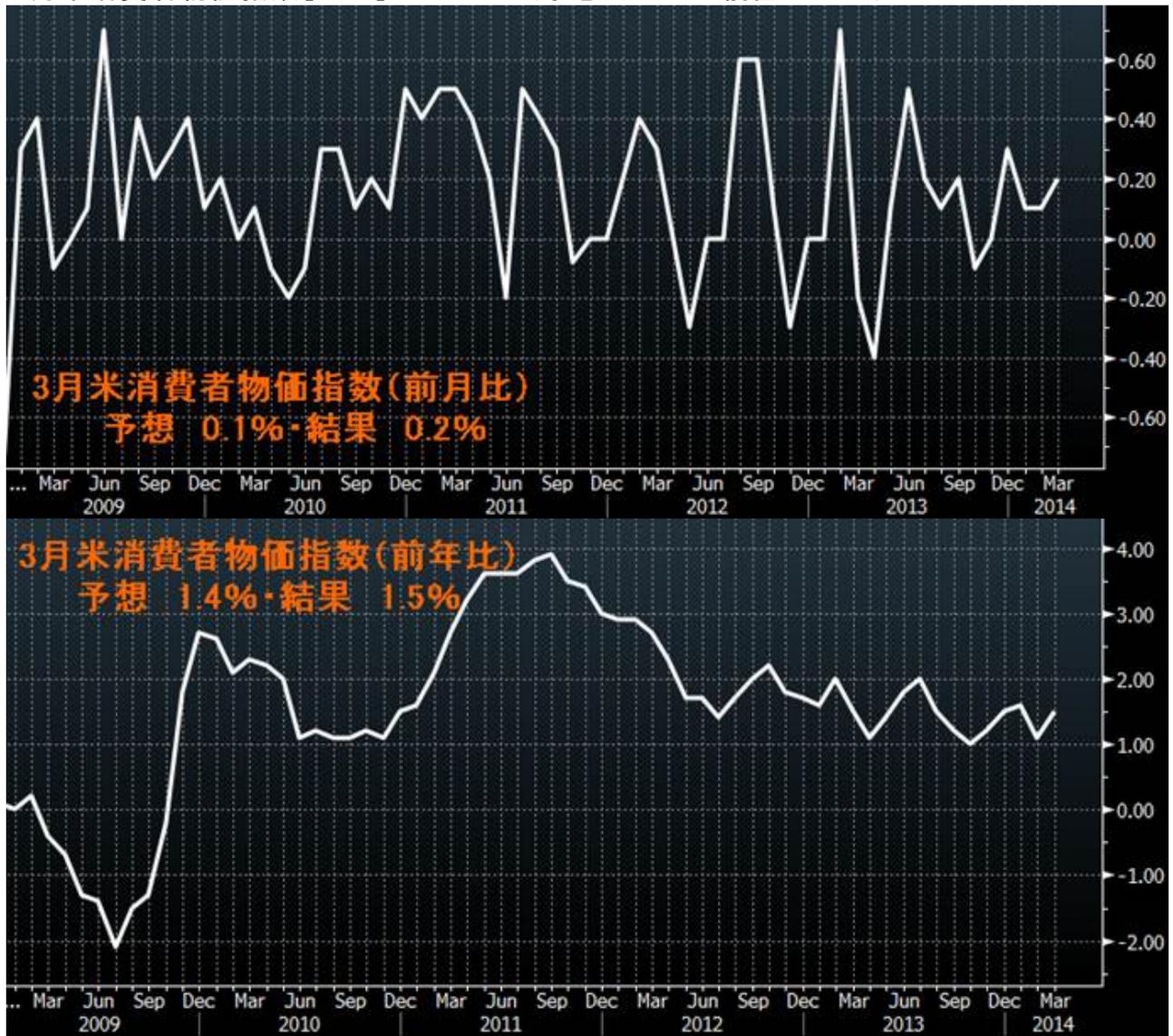
《 経済指標の結果 》

3月米消費者物価指数(前月比) 0.2% (予想 0.1%・前回 0.1%)

3月米消費者物価指数[コア] 0.2% (予想 0.1%・前回 0.1%)

3月米消費者物価指数(前年比) 1.5% (予想 1.4%・前回 1.1%)

3月米消費者物価指数[コア] 1.7% (予想 1.6%・前回 1.6%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《消費者物価指数》

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
全品目	0.2	0.1	0.1	0.2	0.0	-0.1
除く食品・エネルギー	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
エネルギー	-0.1	-0.5	0.6	1.6	-0.4	-0.9
サービス	0.4	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2
食品・飲料	0.4	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1
居住費	0.4	0.2	0.4	0.2	0.2	0.1

21 : 30

《経済指標の結果》

4月ニューヨーク連銀製造業景気指数 1.29 (予想 8.00・前回 5.61)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《NY連銀製造業景気指数》

現状)

	4月	3月	2月	1月	12月	11月
業況	1.29	5.61	4.48	12.51	2.22	0.83
仕入価格	22.45	21.18	15.00	36.59	15.66	17.11
販売価格	10.20	2.35	15.00	13.41	3.61	-3.95
新規受注	-2.77	3.13	-0.21	10.98	-1.69	-3.46
出荷	3.15	3.97	2.13	15.52	4.69	1.46
在庫	-3.06	7.06	-5.00	2.44	-21.69	-1.32
雇用者数	8.16	5.88	11.25	12.20	0.00	0.00

6ヵ月先の見通し)

	4月	3月	2月	1月	12月	11月
業況	38.23	33.21	38.99	37.51	38.96	38.32
仕入価格	33.67	43.53	23.75	45.12	48.19	42.11
販売価格	14.29	25.88	23.75	23.17	27.71	17.11
新規受注	32.69	36.02	45.31	39.10	30.15	39.31
出荷	38.83	35.17	43.33	30.58	33.31	37.09
在庫	3.06	1.18	12.50	-2.44	-4.82	6.58
雇用者数	22.45	17.65	25.00	20.73	9.64	22.37

同指標はゼロが景況の分岐を示す



(出所: ネットダニアー)

21:30

《 経済指標の結果 》

2月カナダ製造業出荷(前月比) 1.4% (予想 1.0%・前回 0.8%) 前回発表の1.5%から0.8%に修正



(出所: ブルームバーグ)

21:55

《 要人発言 》

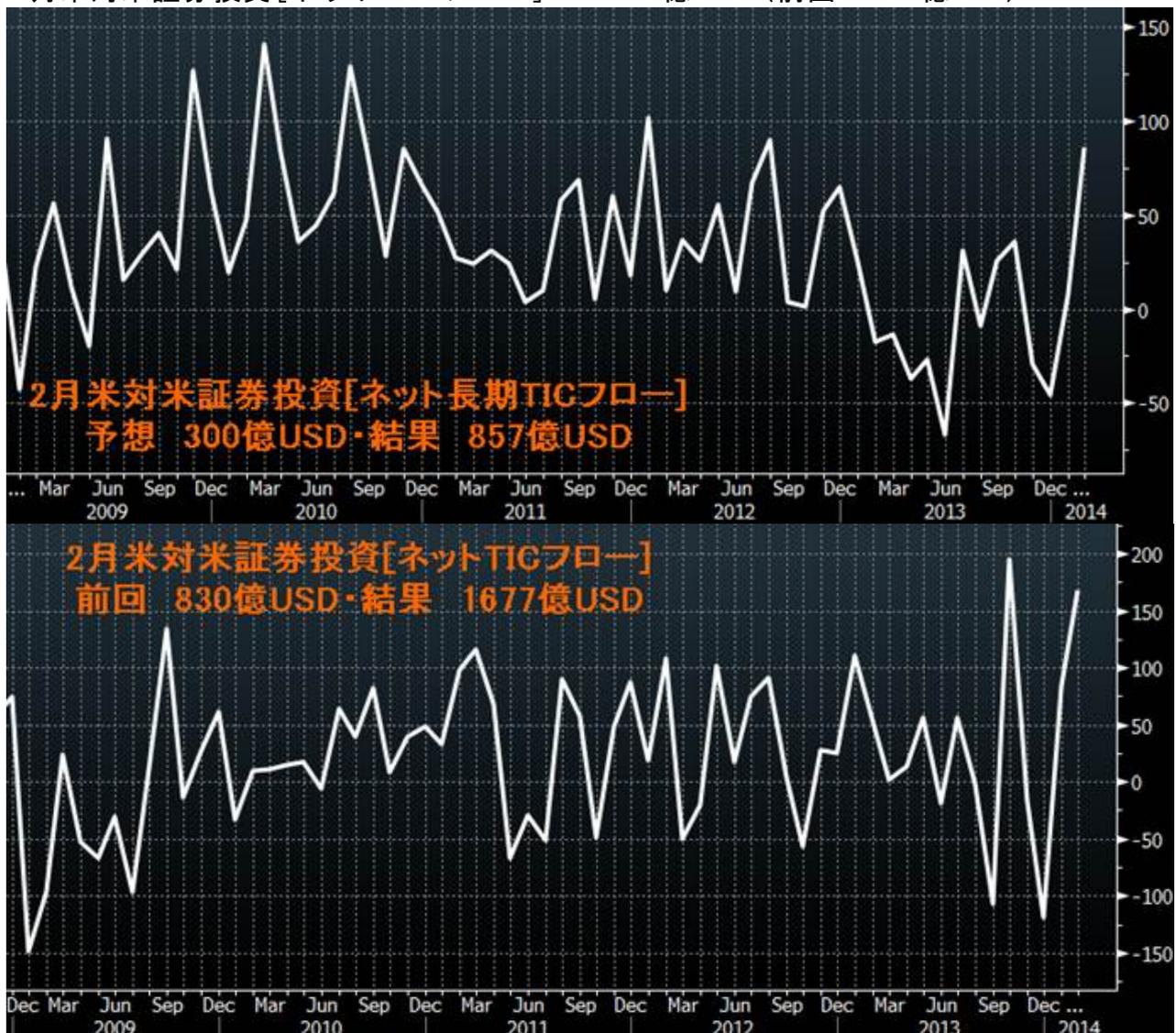
イエレン米FRB議長は、短期金融市場に残る金融安定リスクに対処するため、FRBとして追加措置を講じることを検討していると明らかにした。議長は、国際的な銀行に対する新たな流動性規制を評価しながらも、これらはシャドーバンキングや金融システム全体に対しては適用されないと警告した。

22:00

《 経済指標の結果 》

2月米対米証券投資[ネット長期TICフロー] 857億USD (予想 300億USD・前回 77億USD) 前回発表の73億USDから77億USDに修正

2月米対米証券投資[ネットTICフロー] 1677億USD (前回 830億USD)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

3月カナダ中古住宅販売件数（前月比） 1.0%（前回 0.3%）



(出所:ブルームバーグ)

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16206.95	+33.71
ナスダック	4031.49	+8.80

(出所:SBILM)

23 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

4月米NAHB住宅市場指数 47（予想 50・前回 46）前回発表の47から46に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所: ネットダニアー)

商品市場では、金が2.1%安、銀2.4%安、銅2%安、パラジウム2%安と下げ幅が拡大。中国の3月新規融資が前年同月から減少したことや、マネーサプライのM2の伸びが過去最低となったことが材料となっている模様。これを受けて、豪ドルなどの資源国通貨の下げ幅が拡大している。

23 : 40

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、3月の米消費者物価指数の前月比上昇率が市場予想を上回ったことを好感して、買いが優勢となった。しかし、同時刻に発表された製造業関連の指標が悪化したことなどから、上げ幅を帳消しにする動きも見られた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で99ドル高まで上昇したものの、その後31ドル安まで下げる動きとなった。

《 経済指標のポイント 》

(1) 3月の米消費者物価指数は、前月比+0.2%となり、5ヵ月連続のプラスとなった。食品価格や住居費の上昇などが全体を押し上げる一方、エネルギー価格は下落した。前年同月比は総合指数が+1.5%、コア指数は+1.7%。

① 変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は、前月比+0.2%と市場予想の+0.1%を上回った。

② 品目別の前月比の動向は、食品が+0.4%。肉類、乳製品が値上がりしたほか、野菜・果物も上昇が続いた。エネルギーは、ガソリンや燃油が値下がりし-0.1%。天然ガスや電力は値上がりした。

(2) 4月のニューヨーク連銀製造業景況指数は1.3と、前月の5.6から低下し、5ヵ月ぶりの低水準に落ち込んだ。

①項目別では仕入れ価格指数が22.5(前月21)、雇用指数は8.2(5.9)、販売価格は10.20(2.35)と前月を上回ったものの、新規受注は-2.8(3.1)、在庫は-3(7)といずれも2ヵ月ぶりのマイナスに低下した。

②6ヵ月先の見通しを示す期待指数は38.2(前月33.2)、雇用者数は22.45(17.65)、出荷は38.83(35.17)、在庫は3.06(1.18)と前月から上昇した。一方、仕入れ価格は33.67(43.53)、販売価格は14.29(25.88)、新規受注は32.69(36.02)と前月から低下した。

(3) 米財務省が発表した2月の国際資本統計によると、対米証券取引に伴う資本移動は、海外投資家からみて1677億ドルの買い越しとなり、米国への資本流入を示した。買い越しは2ヵ月連続となった。長期証券投資は857億ドルの買い越し。米国証券は848億ドル、外国証券は10億ドルのそれぞれ買い越しとなった。

①米国証券への投資の内訳は、民間が663億ドル、公的部門が185億ドルのそれぞれ買い越しとなった。民間は米国債が759億ドルの買い越しとなった一方で、政府機関債が25億ドル、社債が62億ドル、株式は8億ドルの売り越しとなった。

②公的機関は米国債が166億ドル、政府機関債が25億ドルのそれぞれ買い越しだった。株式は横ばい、社債は5億ドルの売り越しだった。

③月末時点の国別の米国債保有残高は、中国が前月比27億ドル減の1兆2729億ドル。日本は前月比91億ドル増の1兆2105億ドルと2ヵ月連続のプラスとなった。

(4) NAHB(全米住宅建設業者協会)が発表した4月住宅建設業者指数は47となり、前月の46から上昇した。ただ市場予想の50には届かなかった。判断の基準となる50を下回るのは3ヵ月連続となった。

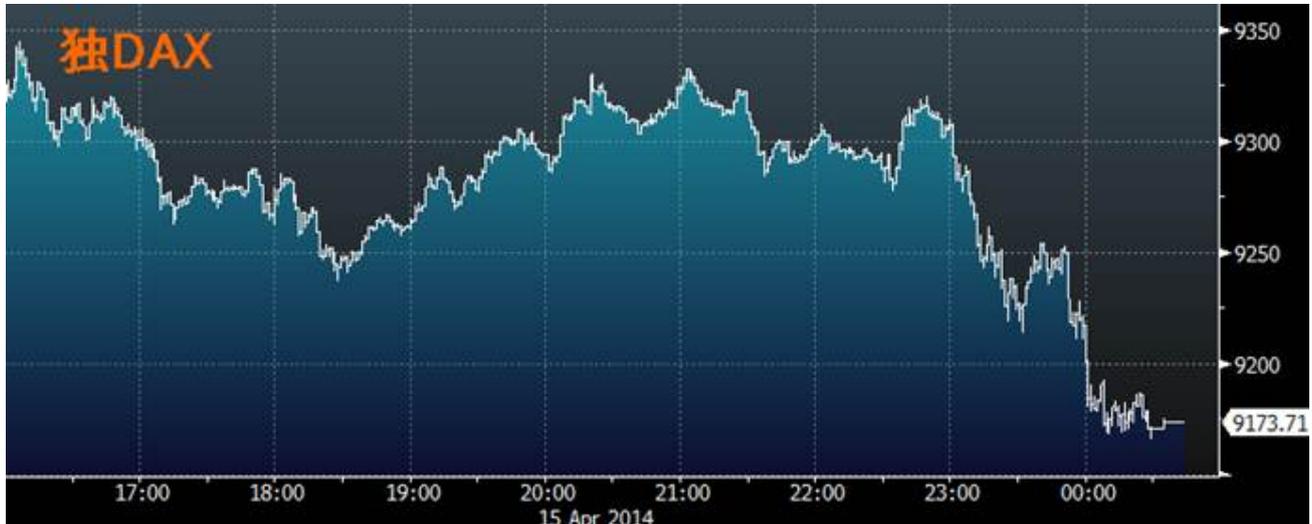
一戸建て住宅販売状況に関する指数は51と、1ポイント下方修正された前月から横ばいとなった。一方、向こう半年の一戸建て住宅販売に関する指数は57と、前月の53から上昇し、3ヵ月ぶりの高水準となった。潜在的な住宅購入者の動きに関する指数は32と、1ポイント下方修正された前月から横ばいとなった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6541.61	-42.15
仏 CAC40	4345.35	-39.21
独 DAX	9173.71	-165.46
ストック欧州 600 指数	326.58	-3.21
ユーロファースト 300 指数	1306.42	-13.04
スペイン IBEX35 指数	10103.50	-84.70
イタリア FTSE MIB 指数	20817.49	-497.07
南ア アフリカ全株指数	47789.76	-423.50

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ウクライナ情勢が緊迫化すると懸念から投資家がリスク回避志向を強め、主要株価は軟調な動きとなった。特に、独DAXは、ドイツの景況指標が悪化したことも加わり、下げ幅を拡大する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16107.67 (-65.57)、S&P500 1826.67 (-3.94) ナスダック 3970.82 (-51.88)

《NY債券市場・午前》

午前の債券市場は、ウクライナ情勢が再び緊迫化すると懸念から投資家にリスク回避志向が広がり、中長期債を中心に安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。ただ、3月の米消費者物価指数が市場予想を上回ったため、インフレ懸念が高まって売られる場面もあった。

午前の利回りは、30年債が3.46%（前日3.49%）、10年債が2.6%（2.65%）、7年債が2.16%（2.19%）、5年債が1.60%（1.61%）、3年債が0.83%（0.83%）、2年債が0.37%（0.37%）。

《欧州のポイント》

①イタリア国家統計局の局長は、議会証言で第1・四半期のGDPが前期比+0.2%増加したとみられると述べた。今年いっぱい同じペースでの経済成長が見込まれるという。イタリア経済は、2011年半ばに景気後退に陥ったが、その後は景気に改善傾向がみられ、2013年第4・四半期は0.1%のプラス成長を記録した。

②4月の独ZEW景気期待指数は43.2となり、3月の46.6から低下し、指数は4ヵ月連続の低下となった。ウクライナ問題がドイツの景気見通しを引き続き悪化させている一因となっている。ただ、現況指数は59.5と、3月の51.3から大幅上昇した。ZEWは、現況指数の大幅上昇をみると、なぜ一部の専門家が今後半年の見通しを引き下げたかが分かるとし、専門家の目には、独経済は既にかかなりのペースで成長していると映っているとの見方を示した。

③ギリシャは、ロールオーバーのため3ヵ月物Tビル入札を実施し、16億2500万ユーロ（22億5000万ドル）を調達した。債券市場への復帰を先週果たしたことを背景に、利回りは2.45%（前回3.10%）と大幅に低下し、応札倍率は2.73倍（前回2.38倍）となった。調達額には、非競争入札での3億7500万ユーロ分も含まれる。決済日は22日。

④英政府統計局が発表した3月の消費者物価指数は、前年同月比+1.6%となり、インフレ率は前月の1.7%を下回り2009年10月以来4年半ぶり低水準となった。ガソリンや衣料品の値下がりが影響した。

インフレ率は3ヵ月連続で中銀目標を下回っており、政策金利を過去最低の0.50%に据え置くカーニー総裁の方針を支えている。物価上昇率の低下は消費者の負担軽減につながっており、今週発表の経済データでは賃金の伸びが物価上昇ペースを上回り始める兆候が示される可能性がある。

《ここまでの動き》



(出所: ネットダニアー)

- ①欧州市場の流れを引き継ぎ、堅調な展開で始まる。序盤に発表された消費者物価指数が予想を上回る結果となったことを受けて101.97まで上昇した。
- ②しかし、製造業関連の指標が悪化したことから、上げ幅は限定的となり軟調な動きとなった。
- ③米主要株価が堅調な動きとなったことを受けて、USD/JPYは102.00まで上昇する動きとなった。
- ④コモディティ価格が大きく下落となり、エマージング通貨が下落。また、堅調な動きとなっていた株価がマイナス圏まで下落したことや、明日の中国経済指標結果に対する不安が高まったことを背景に、リスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は軟調な動きが続く。
- ⑤日本政府が4月の月例経済報告で、国内景気の基調判断を下方修正する方針との電子版記事を受けて円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は値を戻す動き。

3 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 27.20 ドル安の 1 オンス=1300.30 ドルで取引を終了した。

4 : 15

NY 原油は、中心限月が前日比 0.30 ドル安の 1 バレル=103.75 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1300.30	-27.20
NY 原油	103.75	-0.30

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

NY 金は、3 月の米消費者物価指数の上昇率が市場予想を上回ったことを受けて、米金融政策が引き締め方向に向かうとの観測が広がり、売りが先行した。また、中国の景気減速懸念が高まったことも圧迫要因となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、16 日に発表される米石油在庫統計で原油在庫の増加が見込まれるとして需給の緩みが意識され、売りが優勢となった。ただ、ウクライナ情勢の緊張を背景としたロシア原油の供給不安から買いも入り、下げ幅は限定的となった。



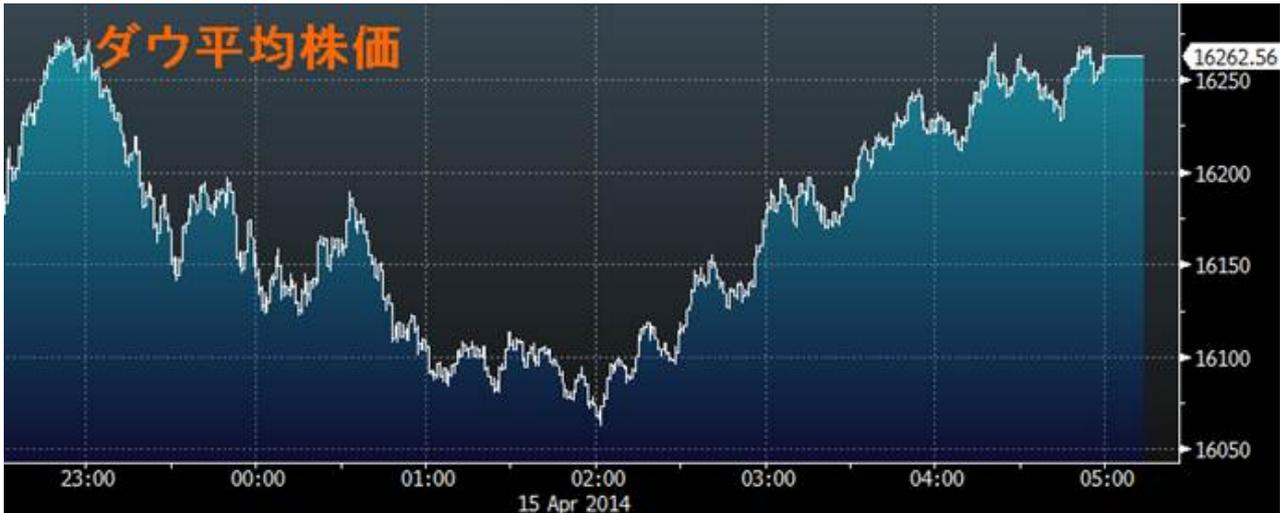
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16262.56	+89.32	16272.95	16063.20
S&P500 種	1842.98	+12.37	1844.02	1816.29
ナスダック	4034.16	+11.47	4054.80	3946.03

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、3月の米消費者物価指数が市場予想を上回ったことを好感して、買いが先行した。しかし、同時刻に発表された製造業関連の指標が悪化したことなどから、上げ幅を帳消しにする動きも見られた。その後、ウクライナ情勢に対する不透明感や、中国の景気悪化懸念を背景に、主要株価は下落に転じたものの、終盤には値を戻す動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で99ドル高まで上昇したが、その後101ドル安まで下げる動きとなった。しかし、引けにかけては再び80ドル高まで値を戻す動きとなった。



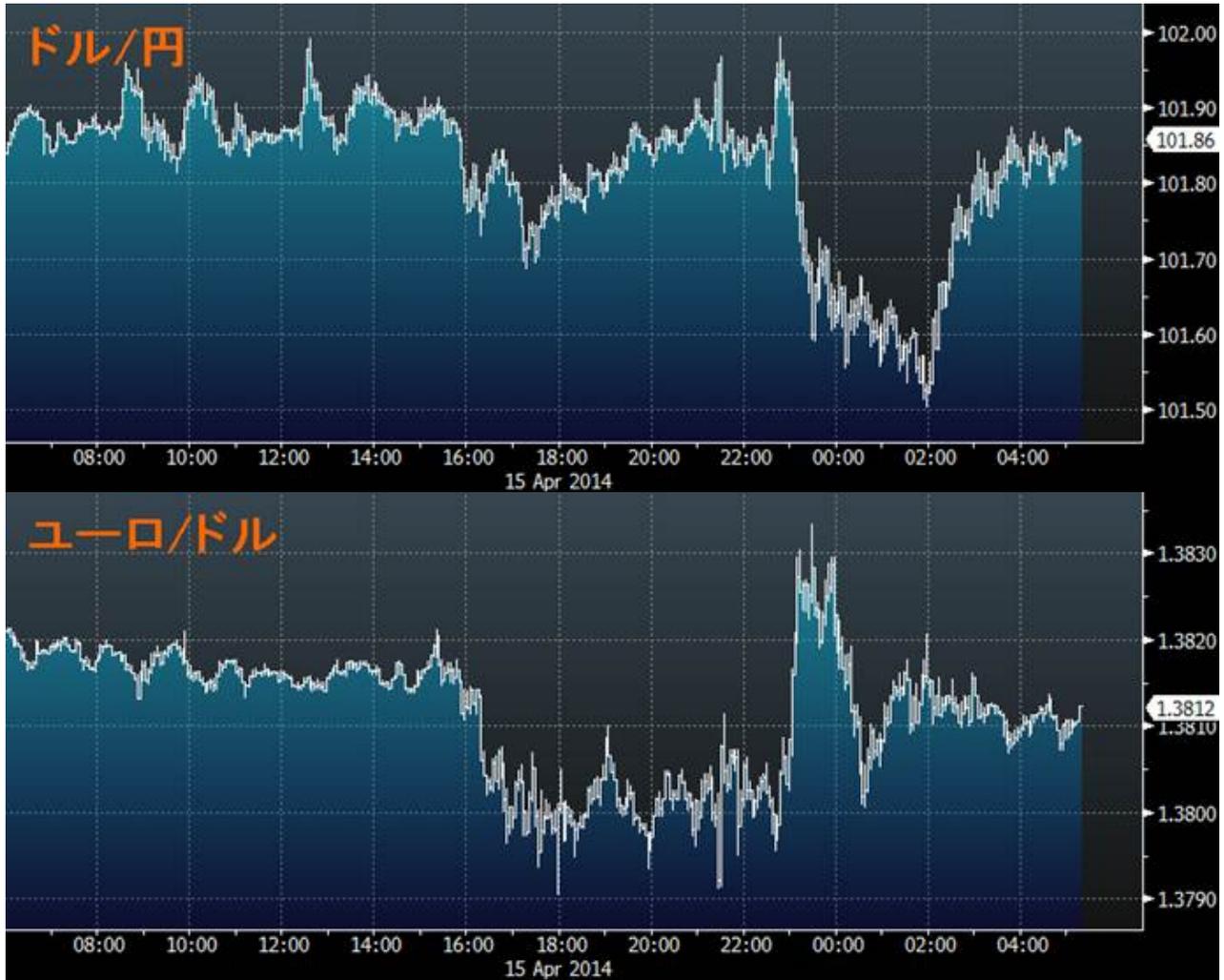
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	101.87	102.00	101.51
EUR/JPY	140.69	140.77	140.23
GBP/JPY	170.40	170.69	169.74
AUD/JPY	95.33	95.70	94.84
NZD/JPY	88.05	88.29	87.62
EUR/USD	1.3813	1.3834	1.3791
AUD/USD	0.9359	0.9393	0.9336

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤は米物価関連の経済指標が予想を上回る結果となったことから、ドル円・クロス円は堅調な動きも見られた。しかし、その後株価が大きく下落したことなどからリスク回避の動きが強まり、円が主要通貨に対して上昇する動きとなった。しかし、引けにかけて株価が再び上昇したことを受けて、ドル円・クロス円も値を戻す動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。